

放送局が地域のチャレンジを支援するベンチャー企業を設立します



Glocal K

九州にもっと ワクワクを。

九州朝日放送株式会社(代表取締役社長 和氣 靖、以下「KBC」)は、九州をもっとワクワクさせる地域のチャレンジを支援する、株式会社 Glocal K(株式会社 グローカル ケイ)を2020年4月に設立しますのでお知らせします。

1. 設立の目的

KBCは2018年からの中期経営計画で、「地域と共にあるナンバーワンメディア」を目指しています。2019年1月からは、福岡県内60市町村を60週間かけて取り上げる「KBC60市町村情熱プロジェクト・ふるさとWish」をラジオ・テレビで展開しています。

地域の声を伺う過程で私たちは放送以外のジャンルでも地域の活性化を後押しすることができるのではないかと考え、地域伴走型のベンチャー企業を立ち上げることにいたしました。

放送局はこれまで、①数多くの情報から価値あるものを取材で見出す②その魅力を編集で凝縮する③動画や音声でストーリー性を持たせて伝える、ことを強みとしてきました。この、「人のココロに価値を届ける」プロデュースのノウハウを地域に還元し、地域がありがたい姿になるチャレンジを後押しします。

2. 放送局から飛び出した、3つのアクション

(1) コミュニケーションのデザインで、地域資源のブランディングを支援する

「私たちはこういうことをしています」と地域の魅力を広く告げるだけでは社会の認識は簡単には変わりません。好きになってほしい人を定義し、地域資源の魅力を捉えなおし、組織が現状のままでいいのか見つめなおし、どのように社会とコミュニケーションをとればよいか計画を立てる必要があります。その過程で、手段として必要なプロモーション動画の作成や商品開発、地域資源の新しい活用などもお手伝いします。デジタル、マーケティング、デザインなどあらゆる手段を活用します。

(2) 困っている人と、助けたい人をつなぐ

KBCには「ふるさとWish」を通じて生まれた、福岡県内60市町村とその地域に住む人々とのネットワークがあります。このプラットフォームをデジタル活用でさらに発展させ、地域の課題を解決したい当事者と、課題解決に意欲のある企業または団体を仲介するサービスを提供したいと考えています。

(3) 自走できるPR

5Gなどテクノロジーの進化に伴い、情報発信はテキスト中心から動画や音声を活用したものにシフトすると予想されています。Glocal Kは動画・音声・アナウンスなどコンテンツ制作のノウハウを研修やセミナーで提供します。

また、テレビ・ラジオの報道・情報番組の担当者は膨大なプレスリリースから数枚を選び、取材に動くということを日々繰り返しています。この選別の心理メカニズムを知ることによって、プレスリリース作成や情報発信のノウハウが身に付きます。地域が自らコンテンツを作り効果的に情報発信できるよう、「自走できるPR」をサポートします。

3. 新会社の概要

(1)名称	株式会社 Glocal K (株式会社 グローカル ケイ)
(2)本店所在地	福岡市中央区長浜1-1-1 KBCビル1階
(3)代表者	持留 英樹(代表取締役社長・43歳) 福岡県宗像市出身。2000年KBC入社。報道部配属。 2008年ANN中国総局特派員。帰国後、報道部編集長、 情報番組「土曜もアサデス。」プロデューサーなど歴任。
(4)事業内容	地域活性化に関する研究調査業務、コンサルティング業務など
(5)資本金の額	5,000万円
(6)設立年月日	2020年4月上旬(予定)
(7)出資比率	九州朝日放送株式会社 100%

4. Glocal K～会社名に込められた思い

「グローバルに考えローカルに行動する」という、広い視野と情熱を兼ね備えた地域に貢献できる企業になりたいという思いがGlocalに込められています。Kは九州(Kyushu)のほかに鍵(Key)の意味合いもあり、「地域の成功の鍵(Key success factor)になりたい」と願っております。

5. 本件に関する問い合わせ先

九州朝日放送株式会社 社長室長 松延健次
電話番号 092-752-5185